

一時保護再発リスクを評価するモデルの評価 に関する研究のお知らせ

帝京大学大学院公衆衛生学研究科では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2023年8月9日～2025年3月31日

〔研究課題〕

児童相談所での一時保護の再発を防ぐための取り組み～職員の面接技術に依存しない予後予測モデルの有用性の評価～

〔研究目的〕

児童相談所での一時保護再発リスクを評価するモデルの有用性を評価します。

〔研究意義〕

一時保護再発リスクを評価するモデルの有用性を示すことで、今後の児童相談所での活用に繋がり一時保護再発の減少が期待できます。

〔対象・研究方法〕

2023年1月1日から3月31日に横浜市北部児童相談所で一時保護された児童を対象者とします。開発した一時保護再発リスクを評価するモデルを横浜市北部児童相談所の職員に利用して、上記の児童の情報を評価してもらいます。職員ごとのリスク判定の一致度の確認と、利用による業務への影響を評価します。情報利用を拒否される方は、申し出があれば横浜市北部児童相談所が保有する識別コードから個人を特定して情報を削除します。

〔研究機関名〕

研究責任者：帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 准教授 井上まり子

研究者分担者：帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 大学院生 /

横浜市北部児童相談所 医務職員 田中惣太郎

帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 非常勤講師 山岡和枝

〔個人情報の取り扱い〕

データは個人が特定されない状態に加工され解析が行われるため個人情報が公表されることはありません。

研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

田中惣太郎(連絡担当者) 所属：帝京大学大学院公衆衛生学研究科
住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL：(代表)03-3964-1211〔内線 46220〕
田中惣太郎(連絡担当者) 所属：横浜市北部児童相談所
住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 32-1 TEL：045-948-2441